事 前 評 価 書

1 事業名

地区名・路線名等

耐震対策緊急事業

三河港海岸(豊橋地区)

2 事業概要

(1) 位置 : 愛知県豊橋市

(2) 規模・内容 : 堤防(補強) L = 1,215 m

(3) 事業期間 : H 1 9 ~ H 2 4

(4) 事業費 : 約1,380百万円

3 必要性

当海岸は、三河湾沿岸最奥部に位置しており、背後地には人口 37 万、13 万世帯からなる豊橋市の市街地があり人家が密集している。当堤防護岸は明治 20 年頃に築造されたが、度々台風による被害を受け、昭和 28 年 9 月 24~25 日の台風 13 号により欠壊し、未曾有の大災害を被った。その後、昭和 34 年の伊勢湾台風復旧事業により建設されたが、改築後約 40 年以上が経過し、クラックや段差が確認されるなどの老朽化が進行しており、海岸堤防としての機能低下が見られる状況にある。また、背後地には地盤高 TPO~+1m 程度の低地が広がっている。このため、平成 7 年度に耐震検討を行い、堤防の耐震対策の必要性を検討したところ、地震時において液状化層で液状化現象が発生し、堤防が大きく沈下することが明らかとなった。海岸堤防が被災すると地震後の津波などの海水が背後地の広範囲にわたって浸水し、地域に甚大な被害を与える危険性がある。また、当海岸は近年その発生が懸念される東海地震の震源に比較的近いことから地震発生時には震度 6 弱以上の強い揺れが予測されている。このような経緯から耐震性を備えた高潮堤防の補強が必要となった。

4 事業効果 (費用対効果分析のある場合)

(1) 評価期間:56年間

(2) 基準年度:2006年

(3) 基準年における総費用(C): 1,244,785千円

(4) 基準年における総便益(B): 14,700,772千円

(5) 便益の内訳:浸水防護便益

(6) 費用対効果(B/C):11.8

(7) その他:災害による精神的被害軽減効果

想定浸水地域の人的被害軽減効果

5 事業をめぐる社会情勢

近年その発生が懸念される東海・東南海地震に備え、防災に対する住民意識の高まりの中、豊橋地区海岸においても、津波・高潮に対する海岸高潮堤防の耐震化が強く求められている。

6 その他特記事項

特になし